



山口大学共同開発

打音・超音波検査装置

インフラを支える計測器

YUTIS

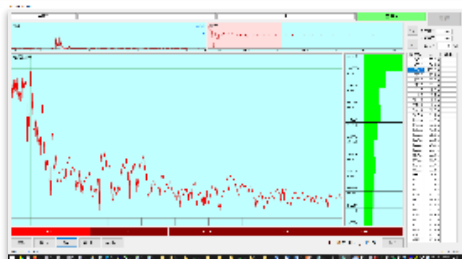
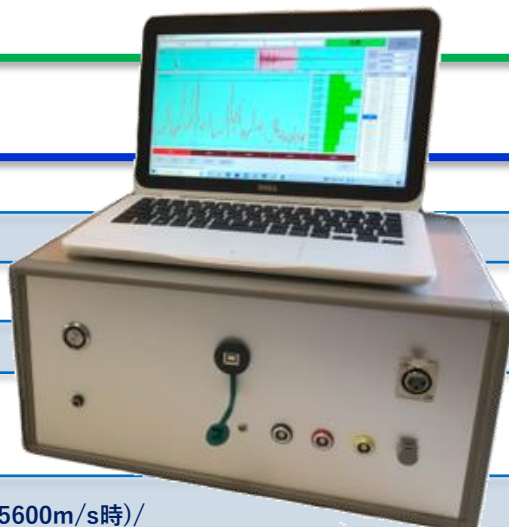


装置概要

コンクリート構造物の内部状況を打音と超音波を用いて診断する装置です。

主な装置仕様

機械部	外形寸法	H175×W370×D350
	材質	鉄 (塗装済)
	供給電源	AC100V/3A単相
	USBポート	装置前面 1箇所
打音計測部	測定可能チャンネル：1 CH/ 集音可能領域：1000~20,000Hz/ メモリ：8GB/ SSD：480GB/ 録音時間：0.3-5sec	
超音波計測部	測定可能チャンネル：1 CH/ 測定範囲：2.5mm~200mm(音速 5600m/s時)/ パルス電圧 (スパイクモード)：450V/ バースト回数：1~10回	



項目	設定値	単位	範囲
測定可能チャンネル	1	CH	1
集音可能領域	1000~20000	Hz	1000~20000
メモリ	8GB		
SSD	480GB		
録音時間	0.3-5	sec	0.3-5

打音データおよび設定画面



AI解析・合否判定



保存フォルダ

保存先: C:\Users\User\Desktop\20200120

GV: C:\Users\User\Desktop

容量警告

警告: 20 % 停止: 10 %

ワーク長さ異常(超過検出は滑り判定)

超過: 800 mm 未満: 1000 mm

測定端から距離: 1.0 mm

表面検出異常判定長さ: 1000 mm

戻る

超音波設定画面

